



# 学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡2002番地

Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604 <http://yahata-es.sado.ed.jp/>

## 授業の質は、板書と子どものノートで分かる

校長 渡部 栄二

学校は、勉強をするところです。教員は、授業で子どもに力をつけます。それは学力だけでなく、思いやりの心や社会性、規範意識なども授業で身につけさせるのです。

では、授業で子どもに「分かった!」「できた!」と自覚させるには、何が大切でしょう。

昨年の全国学力・学習状況調査の結果をお茶の水女子大学が分析した結果、次のような授業をしている学校の学力が有意に高いことが分かりました。

- ・黒板に「めあて(課題)」を書き、授業のねらいを明確にしている。
- ・「学習のまとめ」を書き、何を学んだか自覚させている。
- ・授業中の子どものノートが、見やすく整理されている。

黒板と子どものノートを重視している学校は、子どもの学力が高かったわけです。

実は昨年、佐渡市の全小学校で授業中に留意する10カ条を決めて取り組んでいます。その第5条は、次のようになっています。

**第5条 板書は、「学習課題」と「まとめ」を分かりやすくつなげ、学習の軌跡となるように整理して書きます。**

その時間、何を学習するのか、そして何が分かったのか。まずそれだけは黒板に書こう、ということです。わたしたち教員が参観して黒板を見ても、何を学習しているのか分からない授業があります。それでは、子どもたちは、なおさら分からないでしょう。この1時間でどこまでできたのか、それを子どもに自覚させる有効な方法が、板書で「学習課題」と「まとめ」を書くことだと考えたのです。

さらに「学習の軌跡となるよう…」という文言も続いています。「軌跡」とは物事がたどってきた動きの跡です。「課題」から学習はどのような経路をたどって「まとめ」にたどり着いたのか、それを板書に残そうというわけです。ただ、この残し方は、担任の理念が表れます。論を整然と書くか、図やイラストで華やかにするか、子どもに書かせて活躍の場とするか…。それぞれ効果は違います。また、「学習の軌跡」を意識すれば、板書写真を撮っておくだけで、授業記録にもなります。

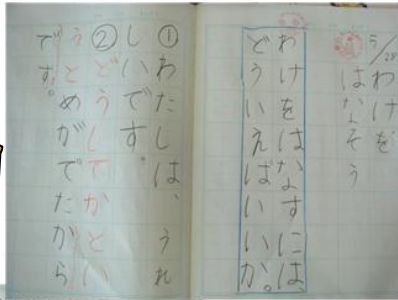
佐渡市の全小学校では、お茶の水女子大学の分析が公表される前から、黒板とノートを重視していたのです。

そこで八幡小学校でも、この黒板の内容(板書)と子どものノートを記録しようという取組をしています。次ページに、その一部を載せます。どんな授業だったのか、伝わるでしょうか。

運動会が終わり、プール水泳が始まっています。しかし、学校の中心は授業です。お子様が授業で力をつけているか、時にお子様のノートをご覧になって、感想をお聞かせいただければありがたいです。



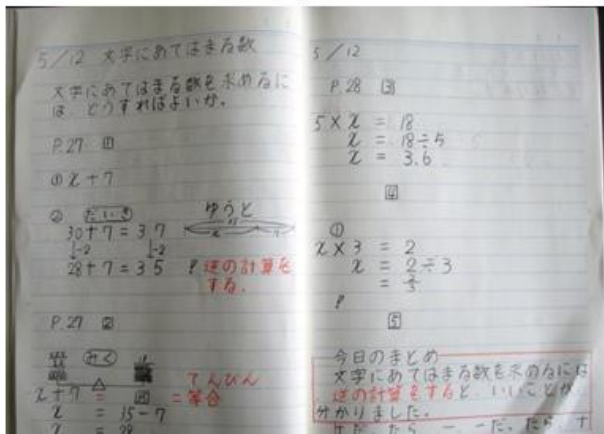
# 各学年の板書と子どものノート



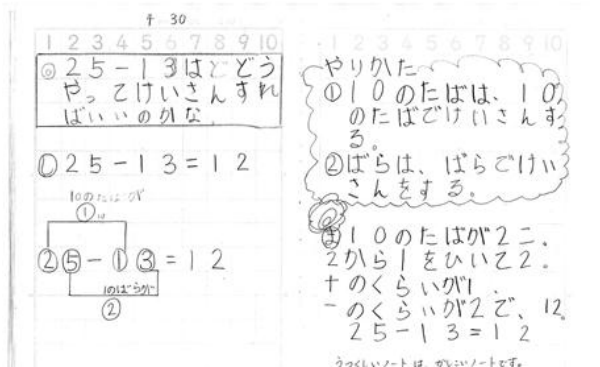
1年 国語



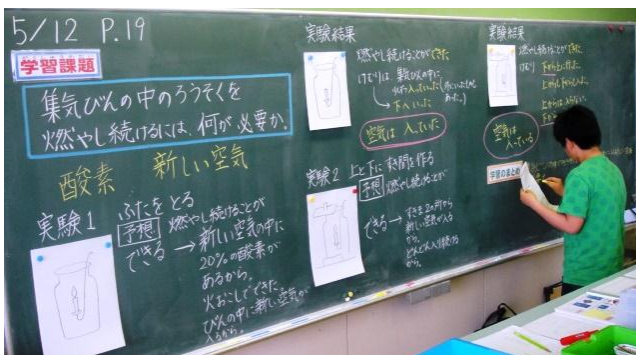
2年 国語



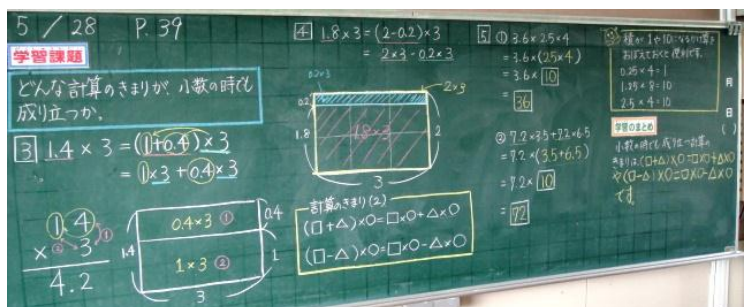
6年 算数



2年 算数



6年 理科



5年 算数



# 運動会アンケート 励ましありがとうございました

運動会アンケートへのご協力、ありがとうございました。結果をお知らせします。評価は昨年よりやや下がりましたが、いただいたご意見に感動しました。文章で評価を伝えていただけるのが、職員には一番ありがたいです。その励ましに応えられるよう、今後全力を尽くします。

NO	項目	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
1	子どもたちは自分の力を精一杯発揮していた。	32名78%	9名 22%	0	0
2	子どもたちは、友達と協力して活動していた。	33名80%	8名 20%	0	0
3	子どもたちは、規律正しく行動していた。	32名78%	8名 20%	1名 2%	0
4	保護者や地域の人を楽しめる運動会であった。	26名64%	14名 34%	1名 2%	0
5	開・閉会式、競技等の内容は、適切であった。	29名71%	11名 27%	1名 2%	0

<良かったこと・気になったこと等を、自由にお書きください。>※一部抜粋

○一生懸命取り組む姿に感動しました。

○子どもたちがキラキラと輝いていて、とてもよい運動会でした。職員の皆様、お疲れ様でした。

○小学校最後の運動会。子どもたちの成長ぶりに驚きました。一生懸命な表情・動き、家ではあまり見たことないような…。思い出に残る一日となりました。

○とてもみんなが協力して、団結していたのでいいと思った。見ている側も楽しめたので来年も来たいと思った。先生方、お疲れ様でした。

○人数の少ない中、先生方が準備にグラウンド内を走り回ってくださり、とても感動しました。とにかく協力、一致団結した素晴らしい運動会でした。ありがとうございました。

○先生方が手際よく競技の準備をしてくださり、スムーズに進行されていると感じました。ありがとうございました。

○最後の運動会でした。参加できてよかったです。先生や友だちのあたたかいメッセージに励まされ、がんばれました。ありがとうございました。一生心に残る運動会となりました。

○開会式、応援、よく声が出ていた。「やるぞ」という気持が伝わってきた。どの程度指導されたかわからないが、その指導を自ら生かす児童の力は素晴らしい。少人数校のよさと捉えるのではなく、学校力のよさ、職員と児童の関係のよさではないかと思う。全体の前でもの怖じしない態度、やる時は一丸となってやるという構えをしっかりと植え付け、今後に期待するものです。素晴らしい運動会（児童）である。

職員が年々減少する中で、私たちがどのように工夫したか、見ている方は見てくださるのだなと感激しました。また、子どもの成長、協力、「やるぞ」という気持を感じ取っていただけたのもうれしいです。私たちが特に力を入れて指導した内容だからです。最後の方は「職員と児童の関係のよさ」にも言及していただきました。教師冥利に尽きます。

このようなご意見・お手紙をいただき、職員も感動し、明日からのやる気が高まっています。今後の子どもの活躍にもご注目ください。



# 「いじめ見逃しゼロスクール」の取組

～いじめ、不登校、暴力行為のない明るい学校づくり～

生徒指導部：佐藤 順子

6月は、新潟県の全学校が「いじめ見逃しゼロ」に向けて、それぞれの学校で取組を行っています。八幡小学校でも、いじめや不登校につながるような行為を見逃さないようにしたり、相手の気持ちを考えた言動をしたりできるように、次のような活動を行っています。

## <全校朝会で>

6月3日の全校朝会で、「相手のことを心から考えよう」という校長講話（学校だよりNo.5）と、生徒指導部から「ふわふわ言葉とちくちく言葉」についての話を行いました。黒板いっぱい貼られた言葉を、低・中・高学年の代表3人が、2つのグループに手際よく分けていきました。全校児童もうなずきながらその様子を見ていました。子どもたちは自分の言葉を意識し、「ふわふわ言葉」をかけてもらうと“いいとこみつけの木”に、そのことを書いて紹介しています。



## <縦割り班遊び>

6月11日の昼休みに、「縦割り班遊び」を行いました。高学年が中心になって企画運営し、体育館やプレールーム、前庭などで楽しく遊びました。みんなで鬼ごっこをしたり、ゲームをしたりして、たくさん体を動かし、笑うことで、子どもたちの心の距離が近くなりました。



## <QU アンケートの実施>

毎月の「なかよしアンケート」に加えて、今月は「QU アンケート」を実施しました。自分や友達、学級についてどんな思いをもっているか答えてもらいました。その結果から、普段の様子からは感じられないことが見えてくることがあります。小さな変化も見逃さず、子どもたちの気持ちに寄り添った指導に生かしていきます。

## <いじめのサインを見逃さない～こんな変化はありませんか？家庭でのチェックポイント>

- 食欲が急に落ちる、寝つきが悪い、笑顔が減る。
- 意味なく夜更かしし、極端に寝起きが悪くなる。
- 「どうせ自分はダメだ」などの自己否定的な言葉を口にするようになる。
- 妙ににこにこしたり、気を遣いすぎたりすることが多くなる。
- ささいな事で怒ったり、家族に八つ当たりしたりするようになる。
- 家族との会話が減ったり、意図的に学校や友達の話題を避けたりするようになる。